

単 元	年 組 番	1 2 問
六年 「たのしみは」	氏 名	

○ 短歌の基本ルールを完成させましょう。() に当てはまる言葉を、から選んで、記号を書きましよう。同じ記号を何度使ってもかまいません。

「短歌を作るときの基本ルール」

① 短歌は、五・(エ) ・(ウ) ・七・(エ) の (キ) 音からできている。

② 小さな「つ」やのばす音、「ん」も、一音と数えます。

しよつき ↓ (ア) 音 おとうさん ↓ (ウ) 音

へんじ ↓ (ア) 音 たのしみは ↓ (ウ) 音

- ア 三
- イ 四
- ウ 五
- エ 七
- オ 九
- カ 十 七
- キ 三 十 一

○ 次の三つの短歌を完成させましよう。歌の意味と短歌の基本のルールをもとに、から適切な言葉を選び、() に記号を書きましよう。

たのしみは妻子むつまじくうちつどひ

- () エ () 物をくふ時

私が楽しみとするのは、妻や子どもたちと仲よく集まり、並んでいっしょに何かを食べるときだ。

たのしみは昼寝目ざむる () イ ()

- ことごと湯の煮えてある時

私が楽しみとするのは、風寝から目覚めると、枕元の火ばちにかけた鉄瓶の湯が「ト」トと音を立てているときだ。

たのしみは朝おきいでて () ア ()

- () カ () 咲ける見る時

私が楽しみとするのは、朝起きて庭に目をやると、昨日まで咲いていなかった花が、美しく咲いているのを見るときだ

ア 昨日まで イ 枕べに ウ 最初の日

エ 頭ならべて オ 二人同時に カ 無かりし花の

チャレンジシート② ジャンプ

学習日 年 月 日

六年 「たのしみは」	単元	年組番	3問
氏名			

○ 例を参考にして、「たのしみは・・・時」の形で、短歌を作りましょう。

五音

七音

五音

(例) たのしみは けんかの後の 仲直り

七音

七音

二人同時に 笑いあう時

正木 奈々

たのしみは

時

○ 「たのしみは」だけでなく、「喜びは」「感動は」「悲しみは」などに変えて、短歌を作ってみましょう。

は、

時

は、

時

すてきな短歌ができたかな

書いた作品をお家の人に読んでいただきましょう